

『令和5年度 議会報告会のとりまとめ』



令和6年1月開催

鹿島市議会

令和5年度 議会報告会 質問等とりまとめ

市民	常任委員会で行った、行政視察を鹿島市にどう活かすか。また、文教厚生産業委員会は兵庫県の視察に行ったが、人口増で有名な明石市ではなく、なぜ加西市へ行ったか。
議員	広島県三原市は人口減少の取組で定住対策をされている。広島県竹原市は古くからの建物維持で事業展開されている。広島市災害伝承館では災害に対する対応を学び、知識を得た。これらを鹿島市に活かす。
議員	人口規模が似ている、加西市へ視察に行った。同じ人口規模でなぜ5つの無料化（保育料・給食・医療費・オムツ・病後児保育）ができるかを学びに行った。有名なトースターメーカーがふるさと納税の返礼品を出してくれるおかげで無料化ができてきているようだ。ふるさと納税が大事と感じた。特徴ある返礼品を作っていないといけないと思う。
市民	人口が減少している。それに伴う企業誘致はどのように進められているのか。
議員	企業誘致について研究調査している。県庁の企業立地課へ出向き、県がどのような考えて企業誘致を行っているか聞いてきた。行政視察でも企業立地優遇制度を勉強するために、宮崎県都城市へ行き、勉強してきた。年4回の本会議の中でも、執行部に対して、企業誘致をもっと積極的に進めるよう、提案している。 昔は企業誘致は製造業を誘致するのが主だったが、今佐賀県としてはIT関連の企業を誘致する方向。人手不足で、製造業を誘致しても人が集まらないというのが県内の状況。地域交通まちづくり特別委員会は4年かけて活動するので、少しずつ勉強しながら、市の担当課と協議して進めたい。
議員	企業誘致となると、交通条件が必須となる。国道207号線の鹿島バイパス沿道の開発をやることによって、企業誘致、商業施設の立地等が期待できるかと思う。仮に鹿島バイパス沿道の開発ができれば、雇用が生まれ、税収も見込まれる。今の法律制度上、なかなか沿道開発がすんなりいかないの、しっかり市と協議しているところだ。
市民	蟻尾山運動公園の野球場に屋根がない。屋根を作ってほしい。
議員	蟻尾山運動公園は、以前はトイレがなく、何年もかけてやっと簡易トイレができた。予算の問題もあるので、担当課へ伝える。
市民	未婚者が多い。婚活事業について具体的に教えてほしい。
議員	人口減少について、晩婚化が進んでいるうえに、子供の数は少なく、高校卒業すると他所へ行って就職する。県立大学の誘致や若い人がちゃんと給料をもらえるよう、活動をしていないといけないと思っている。
市民	新規就農者の話があったが、どういう話になったか教えてほしい。
議員	新規就農者の取組みについて、近年、近隣の嬉野市や武雄市と比べて農業に就農する人が非常に少ないと私たちも危機感をもっている。県でも、さが園芸888運動で補助を手厚くして、新しい後継者を作ろうと取り組んでいる。嬉野市は大きなハウス団地を作って、そのトレーニングファームで研修した若い人を引き受けている。市も農協も一緒になって取り組んでいる。武雄もきゅうりに特化してトレーニングファーム研修の農業団地を作って大規模に取り組んでおられる。鹿島も今年から農業団地を始めている状況なので、2、3年後期待したい。
市民	鹿島の人口より多いカモが来ている。麦ばかり荒らされ、麦が全部潰れてしまうくらいカモが来ているので、対策をお願いしたい。
議員	従来からカモは海苔の食害で苦慮してきた。ラムサール推進室を中心に対策をやっており、新たな方法として、ドローンでLEDを照射して追い払うという、実験段階だがやっている。諫早湾の調整池から、トモエガモという種類のカモが10万羽くらい鹿島にやってきている。トモエガモが麦を食べるかどうかが調べる。
市民	新規就農で新しくきている人は、2000万、3000万の借金を負って、すでに鹿島から出て行っている人もいる。残されたハウスは誰がするのか。当たり前の話ではなく、もっと突っ込んだ、本気になって考えてもらいたい。視察もいいが、ぜひ第1次産業を見てもらって、なんとかしないとイケない、という気持ちになってもらいたい。

市民	能古見地区はバスが朝7時～10時半、帰りは1時～4時半のバスしかない。間にもう1回バスを運行してほしい。タクシーで帰ると3500円くらいかかり、かえって高くつく。
議員	乗合タクシーは能古見地区の方には大変苦勞かけている。ご要望の時間帯の運行は、台数が非常に限られており、能古見地区だけに配車というのは厳しい。運転手も高齢化しており、運転手の確保にタクシー会社も苦慮されている。今日の意見を執行部に伝える。
市民	企業誘致について、もう一度聞きたい。鹿島は衰退してしまっている。
議員	企業を誘致するにも候補地がない。谷田工場団地も全部売れてしまっている。これから工場団地を造成するにも、売れるまで相当期間がかかる。用地取得と造成費をかけて、きてくれる企業があるかという問題もある。今どう取り組むかは執行部で検討しているが、まだ絞り込みの状況にまで至っていない状況である。
議員	企業誘致について、今鹿島市は候補地がないという状況。新しく工業団地を作るためにはかなり予算がかかる。現在は3か所くらい予定地を選定されて、これからどうするかというところ。また、交通状況が少し条件が悪いので、まず道路、例えば国道498号を早く整備することが大事な条件となる。ただ鹿島の場合、空き店舗があって、市内外の方が商売をしている。工業団地はないが、空き店舗を利用して、企業の方が来ている状況である。
市民	病児保育のことで、今後どのような取り組みがなされるのか聞きたい。孫が病気になって、親が働きに出ないといけなときは、嬉野市まで連れて行っている。自分が仕事を休んだりと段取りをつけて送迎している。なぜ鹿島市はなかなか進まないのか。娘夫婦が県外から来てくれたが、整っていないし、鹿島市を出ようかと考えている。今後、若い人が安心して子育てできるような状況を鹿島市に作っていただきたい。
議員	病児・病後児施設があるのは、嬉野市の個人病院。江北町にも個人病院がある。武雄市は公の施設で病後児を預かって対応しているので、鹿島にないというのは、子育てする人にとって非常に困った問題と思い、一般質問してきた。以前、市内の病院が病児・病後児施設の申請をされたが、国の決定まで至らなかった。太良町にも施設がないので、根気強く、鹿島市にぜひ作りたいと思いをを入れて質問している。
市民	休日子どもクリニックはどの程度機能しているのか。電話をしても断られたりするので、そこにある意味があるのか。実態やどのように機能されているのか知りたい。そこにドクターを雇っているのに、機能していないなら、病児保育に回せないかと思う。また、検査ができないと言われたので、嬉野医療センターへ連れて行った。どういう線引きで検査できないのか知りたい。
議員	自分の孫も風邪をひいたときは行っているが、1回も断られたことはない。検査はおそらくできないと思う。非常勤でおられる先生なので。自分の孫も、行って次の日にはまた小児科に行っている。緊急なので、非常の措置をするだけ。今まで1回も自分の孫は断られたことはないが、後で詳しく調べてお知らせする。
市民	空家対策について。市は業者を雇って空家の調査をされたと思うが、その後の対策はどうされているか。崩壊寸前の空家もある。10年で空家が3倍に増えた。行政にもお願いしているが、なかなかいけない状況である。対応をお願いしたい。
議員	鹿島市空き家等対策協議会があり、そこで個別具体的な話をしている。最終は強制的な取り崩しになるが、その手続きを土地家屋調査士や司法書士などの有識者で話し合っている。もう取り崩しをしていて、その後所有者がわかった場合は取り崩しにかかった費用を請求するなどの取組みをしている。最新の情報がわかったら、区長や班長を通じて連絡をするように手はずを取りたい。
市民	国会議員や県議会議員と何回くらい意見交換会があるか。
議員	議会として、国会議員や県議会議員のところに出向いて要望活動、陳情活動をしてきた。例えば、令和2年、令和3年の災害時は国会議員の先生たちの協力を得ながら、激甚災害の指定をもらい、国の予算で復旧復興した。